

中北小学校 学校だより

そ っ た く き 啐 啄 の 機

NO. 2

令和2年5月26日（火）

上天草市立中北小学校

文責：横山

いよいよ学校再開♪

4月の始業式が始まったのもつかの間、1週間ほどで臨時休校となってしまいました。その間、それぞれのご家庭や地域では、コロナウイルス感染防止の自粛が求められる中、お子さんの見守りなど大変ご苦勞があったことと思います。学校では、臨時休校の間、除草作業や花壇等の手入れ、学校施設の整備や清掃・消毒、休校中の課題の準備、再開後の教育計画の再編成や授業の準備など、職員が一丸となって学校再開に向けての準備に取り組んでまいりました。そして、いよいよ6月1日（月）より学校が通常どおり再開となります。また、そのための準備期間として5月26日（火）から29日（金）までを臨時登校日として、4時間の授業を行い、給食も実施しています。

臨時休校中は、地域や保護者のみなさんより、子どもたちや職員に温かいお心遣いやお声かけをいただきました。どれだけ励みになったかわかりません。心より感謝申し上げます。まだまだ油断はできない状況ですが、「全ては子どものために！」を合い言葉に、職員一同全力を尽くしてまいります。今後とも温かいご支援とご協力のほど、お願い申し上げます。



【みんなで授業楽しいな♪】

地域や保護者のみなさんと共に「生きる力」の育成を！

本年度より小学校では新しい学習指導要領がスタートしております。学習指導要領とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に1度改定され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作られます。

新しい学習指導要領では子どもたちの「生きる力」を育むために「主体的・対話的で深い学び」が実現する授業と「社会に開かれた教育課程」の確立をめざしています。

「主体的・対話的で深い学び」とは、子どもが受け身で「教えてもらう」授業ではなく、子どもが「学び」の主人公となって、仲間と協同しながら、「なぜ」を探究する授業です。

「社会に開かれた教育課程」とは、「生きる力」につながる「資質・能力」を、社会と学校が協力しながら、一体となって育てていこうというものです。そこには「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」というねらいがあります。

そこで、中北小学校では、次の3つの力を「生きる力」につながる「資質・能力」として重点的に育てていきたいと考えています。

- 粘り強く学ぶ力 → 「学び合い」
- ともによりよりよく生きる力 → 「助け合い」
- 豊かに伝え合う力 → 「高め合い」

授業はもちろんのこと、様々な教育活動を通じてこの3つの力を育てていきます。また、地域や保護者のみなさんとこれらの学校の教育目標を共有するため、「こんな学校をめざします」という「中北小学校グランドデザイン」を作成しました。地域や保護者のみなさんと共に、夢をもち、明るい未来を切り拓く中北の子どもたちを育てていきたいと思ひます。どうぞご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

こんな学校をめざします！

令和2年度 上天草市立中北小学校 グランドデザイン

学校教育目標

なかよく、かしく、きまり正しく、たくましく、光輝く 中北の子

めざす学校像

- 1 「聴き合い、語り合う」関係を基盤に、確かな学力をつける学校
- 2 思いやりの心、粘り強い心を育てる学校
- 3 健康な体を作りあげる学校
- 4 地域に開かれた活気のある学校

めざす児童像

- 1 思いやりのある子ども【なかよく】
- 2 夢中で学び合う子ども【かしく】
- 3 自分の責任を果たす子ども【きまり正しく】
- 4 最後までやりぬく子ども【たくましく】

めざす教職員像

- 1 子どものよさを引き出し、伸ばせる教職員
- 2 確かな学力の育成に、全力で取り組む教職員
- 3 学校経営参画の意識をもつ教職員
- 4 高い危機管理意識と、その共有化を図る教職員

教育指導に係る重点 努力事項

なかよく (豊かな心の育成)	かしく (確かな学力の育成)	きまり正しく (基本的生活習慣と学習習慣の定着)	たくましく (健康で安全な生活)	質の高い教育 (地域とともにある学校づくり)
①人権教育の推進 ②道徳教育の充実 ③校内研修の充実	①学力の充実と学習指導の工夫改善 ②特別支援教育の充実 ③国際理解教育・情報教育の推進	①生徒指導の徹底 ②環境教育の推進	①健康教育の推進	①中学校区での連携 ②地域との連携 ③不登校対策

学校教育目標の達成に向けて、身に付けさせたい資質・能力

本校児童に「育成すべき資質・能力」を、学習指導要領に基づき、知徳体にあたる本校の課題から設定し、各教科等と特別活動、総合的な学習の時間での学習と体験活動を関連させた「学び合い」の授業を軸とした教科等横断的な学習を柱として身に付けさせることを目指す。

「粘り強く学ぶ力」

できないことができるようになるために、分からないことが分かるようになるために、「聴き合い、語り合う」関係を基盤に、粘り強く学ぶ力をつける。
【学び合い】

「ともによりよく生きる力」

子どもたちの豊かななかかわりの中から、自分を深く見つめ、多様性を尊重しながら、他者と協働し、ともによりよく生きる力をつける。
【助け合い】

「豊かに伝え合う力」

互いを尊重し合いながら、新たな価値や意味を創造するために、相手の思いを受けて、自分の考えを伝えることができる力をつける。
【高め合い】

結果分析・評価

児童や教職員、保護者、学校運営協議会へのアンケート調査の実施と、年度末の学校運営評議会の評価及び熊本県学力学習状況調査の結果を分析し、次年度の方角性を検討する。



人材の活用

地域学校協働活動推進を中心に参加者が増加している。今後、更に充実した教育活動となるよう教職員や地域の方のアイデアを生かして実施していく。

「学び合い」の授業を軸とした教科等横断的な取り組みによる学習

授業研究会を中心に、「聴き合い、語り合う」関係を基盤とする「学び合い」の授業を軸とした教科等横断的な学習年間計画の作成、及び研究授業による検証を行い、授業改善と諸教育活動の在り方を考えていく。